記者発表資料

令和７年８月２７日

青森河川国道事務所
岩木川ダム統合管理事務所

# 岩木川、馬淵川水系渇水対策支部（注意体制）を解除

青森河川国道事務所及び岩木川ダム統合管理事務所では、津軽ダムの貯水量低下に伴い、７月２９日に岩木川、馬淵川水系渇水対策支部（注意体制）を設置し、利水者との調整や情報共有等の対応を行ってきました。

特に９月上旬までのかんがい期間中に取水が行えるよう、渇水情報連絡会を通じ利水者間で調整を進め、かんがい用水の自主節水や流域内ダムの連携行ってきましたが、今般の雨で津軽ダムの貯水率が平年並に回復し、かんがい用水の補給などのダム補給に支障が発生する恐れがなくなり、今後の降雨も見込まれることから、本日１０時に岩木川、馬淵川水系渇水対策支部（注意体制）を解除したのでお知らせします。

津軽ダムの貯水率（利水容量）は、８月２７日(水)９時００分現在５７．１%となっています。

【岩木川、馬淵川水系渇水対策支部などの経過】

・７月２９日　岩木川、馬淵川「注意体制」設置
・８月　４日　岩木川、馬淵川水系渇水情報連絡会臨時会開催
・〃　　岩木川「警戒体制」に移行
・８月１９日　岩木川「注意体制」に移行
・８月２７日　岩木川、馬淵川渇水対策体制を解除

〈発表記者会　：　青森県政記者会、津軽新報社、専門誌各社〉


問い合わせ先

※ 河川・渇水情報連絡会
国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
青森市中央三丁目２０－３８　電話 ０１７-７３４-４５２１（代表）

副所長（河川）　武田　桂輔（たけだ　けいすけ）（内線２０４）
河川管理課長　福士　高義（ふくし　たかよし）（内線３３１）

※ 津軽ダム関係
国土交通省　東北地方整備局　岩木川ダム統合管理事務所（浅瀬石川ダム・津軽ダム）
中津軽郡西目屋村大字居森平字寒沢 138-2　電話０１７２-８５-３０３５（代表）

副所長（技術）　岩花　賢（いわはな　さとし）（内線２０４）
管理課長　中野　博英（なかの　ひろひで）（内線３３１）

# 令和7年渇水における津軽ダムの効果

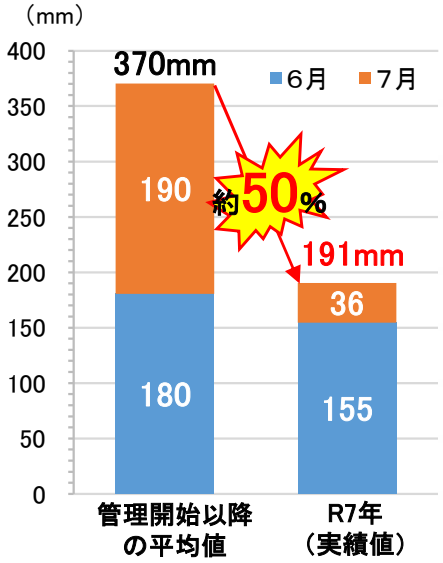
◆津軽ダム流域の6～7月降水量は、H29（2017）年管理開始以降の平均に対して約50%と少なく、特に7月は同管理開始以降の最少値となる36mm/月（平均に対して約19%）を記録した。
◆少雨の影響により、貯水位は7月上旬～8月上旬にかけて平年を下回り急激に低下し、8月17日には今期最低の貯水率18．3%（平均※1に対し－32．2%pt）まで低下した。
◆かんがい用水、水道用水、河川維持用水の安定供給のため多様な関係者との調整・連携により、6月～8月で総量約60百万立方メートル（東京ドーム約49杯分）の利水補給を実施した。
（目屋ダムが利水補給していた場合は7月4日で貯水率がゼロとなり出穂期（7/28～8/8）の補給が不能となったものと推測）

※1　管理開始以降8ヶ年（H29～R6)の8月17日　9時時点における貯水率の平均

## 津軽ダムからの用水補給区域

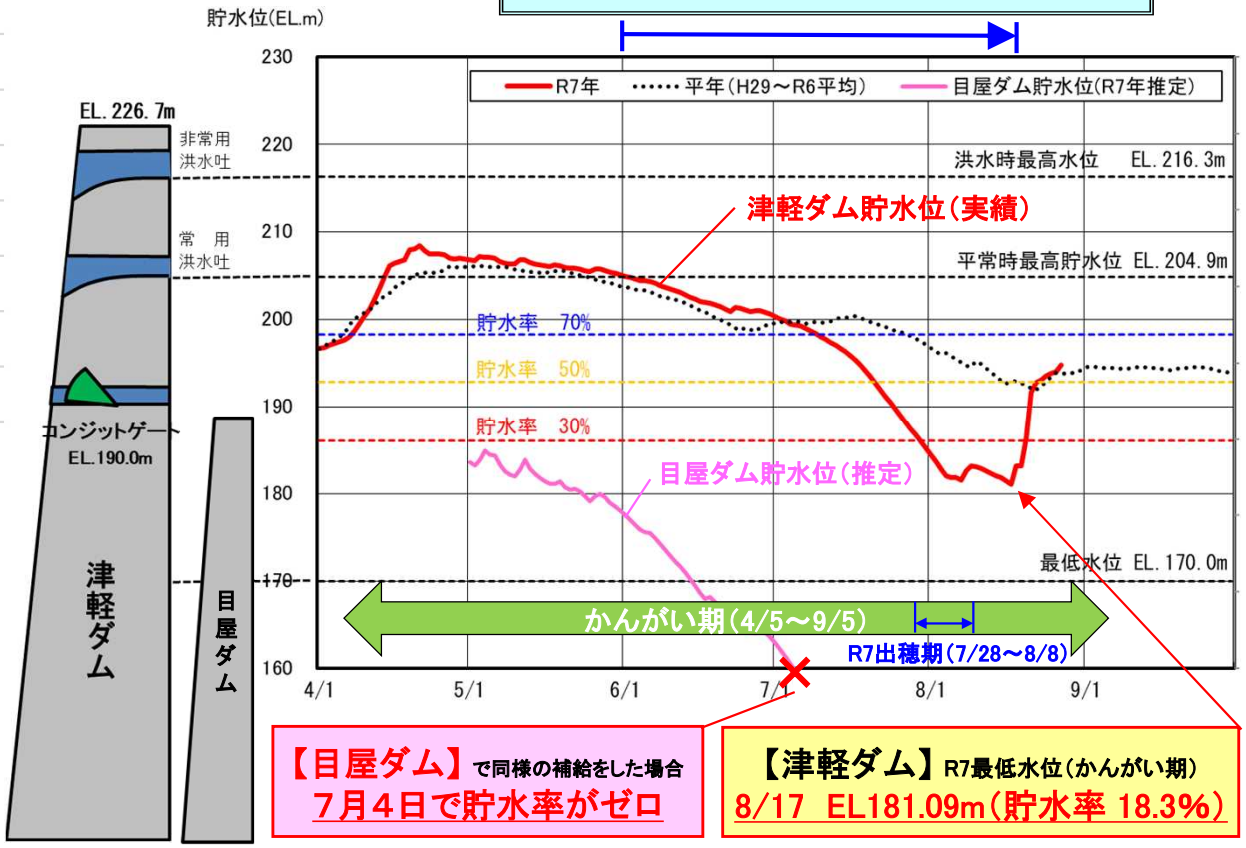
かんがい用水補給
約9,600ha
（岩木川左岸地区）

## 津軽ダム流域降雨量（6～7月）




## 津軽ダム貯水池運用実績図（令和7年）

津軽ダム利水補給総量
約60百万立方メートル ※東京ドーム約49杯分



平均※1に対し
−32.2%pt

【目屋ダム】で同様の補給をした場合
7月4日で貯水率がゼロ

【津軽ダム】R7最低水位（かんがい期）
8/17　EL181.09m（貯水率 18.3%）

※1に相当する貯水位：EL192.94m　【R7最低水位（かんがい期）】 EL181.09m（R7.8.17）